

柔道協会

昭和 23 年(1948 年)創立

【金メダリスト 井上康生 来る！】

平成 20 年(2008 年)9 月 27 日、総合警備保障・松柔会・神奈川県柔道連盟の主催、茅ヶ崎・寒川町両柔道協会を主管とし、さらに茅ヶ崎市・寒川町両教育委員会の後援をいただいた中で、『井上康生』柔道教室』が、寒川町総合体育館において開催された。

参加対象は原則として茅ヶ崎・寒川地域の中学生・高校生であったが、当日は多くの保護者や学校等の指導者に引率されて幼児並びに小学生など大勢の参加者が詰めかけた。

その「教室内容」は、講話及び技術指導であったが、講師は、11 人の世界チャンピオン、多数の国際的選手を育てた全日本柔道連盟副会長の佐藤宣践東海大学体育学部教授、シドニーオリンピック 100kg 級金メダルをはじめ世界選手権及び全日本選手権大会各 3 連覇等の実績を持つ井上康生選手、高橋洋樹東海相模中学・高校柔道部監督等々、錚々たる柔道界の方々であった。

とりわけ、講話もいただいた大御所としての風格も漂う佐藤先生。惚れ惚れするほど姿(姿勢)・形の良い井上選手。参加者は、目を輝かせて背筋もピンと伸ば

してお二人の講話を聞いていた。また、A L S O K の人事部長の講話の中では“有り難うの心”・“思いやりの心”等、精神の大切さを強調なされておられたが、お二人の講師にも共通して響く柔道への思いが宿っていて、技術指導を含めて意義深い『柔道教室』となった。

【茅ヶ崎の柔道】

思えば、嘉納治五郎先生が私塾講道館柔道を創始し、天神真楊流起倒流柔術からその流儀を《柔道》と命名してから 120 年余り、現在は《J U D O》という言葉も生まれ、I J F (国際柔道連盟)には 199 カ国が加盟して世界に広がっている。

しかし、茅ヶ崎の柔道界では、組織育成推進が急務の状態といえる。

現在の活動状況を列举すると、道場では、高橋道場(市内高田)、松林塾(市内赤羽根)、小川道場(市内東海岸北)の 3 道場となり、高校では、茅ヶ崎高校・鶴嶺高校・西浜高校の 3 校だけである。中学校では皆無の有様である。

学校の教育課程で述べると、間もまなく柔道は必須科目のひとつとなるが、指導者・施設の問題等、実施にあたっては困難な向きも考えられる。英断をもって柔

道にも深いご理解とご支援をいただきたいと切に願う次第である。

かつては、鶴嶺中学校が県大会において、春夏連覇を達成したこともあり、個人においては、三好明弘君や関水大八君等が、市で育った名だたる選手としてその活躍を誇っていた。

昭和 62 年（1987 年）から脈々と開催を続けてきた《大岡祭記念柔道大会》。茅ヶ崎市の春の一番として、多くの選手、役員、柔道ファンに支えられてきた。これからも本市柔道イベントの大きな柱として、未来永劫、大事に継続していきたい。

結びにあたり、“礼に始まり礼に終わる”・“精力善用”・“自他共栄”など、柔道の根本精神をゆめゆめ忘れることなく、市民のスポーツ振興に貢献するとともに、県の体育協会会長 山下泰裕先生も述べておられる〈いじめは絶対にあってはならない!〉をはじめとする青少年健全育成のためにも、柔道協会役員一同邁進する所存である。



(平成 20 年(2008 年)9 月 27 日 井上康生選手の柔道教室)